

報 びらとり 10

2020

No.6998



アシリチエパノミ

(サケの採捕・儀礼体験) 10月3日

豊かに暮らせる まちづくりに向けて

9月15日(火)町議会定例会が行われ、遠藤町長がこれからの平取町のまちづくりに向けて、所信表明をしました。



総合計画意見交換会で説明する遠藤町長（右は佐藤副町長）

この度の平取町長選挙におきまして、皆様の御支援を賜り当選の栄に浴することができました。心から御礼申し上げますとともに、改めて、町長という重要な責務、職の重さを強く感じているところです。私は、町民の皆様の期待に応えるよう、議会との連携を大切に、これまで培った経験を活かし、町民の声に耳を傾け、平取町のまちづくりに全力を尽くす所存です。

9月定例会に先立ち、今後、私が進めていくべき町政運営の基本的考え方と、重点的に取り組む政策、施策等についてその方向性を明らかにし、議会をはじめ町民の理解と協力を仰ぎたいと思っております。今後、私が進めていくべきまちづくりのテーマとして「豊かに暮らせるまち平取」をめざすこととしております。

この町で暮らす人々がそれぞれに、その価値観、世代、場所、職業などで豊かさを感じられる、持続可能な地域づくりこそが、私たちがめざすまちづくりの到達点と考えております。

しかし、人口減少や少子高齢化、グローバル化などを起因とするあらたな価値観や社会、地域情勢の変化とともに、多様化する住民ニーズ

に対応するためのハードルも多く、難しい課題に直面することが予想されます。

平取町が今まで進めてきた政策、施策をもとに、地域情勢の変化などに沿って、また議会をはじめ町民の皆さんとの議論を基本として各分野での事業を、第6次総合計画後期実施計画検討の中でより弾力的に組み立ててまいります。

また、これら事務事業、実施の基礎となる平取町の財政見直しは決して楽観できるものではありません。これらの対応として、既存の事業などもより客観的に検証し、その中で、見直しや新たな手法を検討し、求められる施策の実現と財政の健全化をバランスよく進めなければなりません。

私は行政の継続性を重視し、各分野での施策、事務事業、基本的な行政サービスを遅滞なく推進、執行することを基本に、次の項目について、重点的に取り組んでまいります。

①地域産業・経済の 活性化を目指します

農業・林業・商工業・観光関連業など地域産業がさらに活性化するように、環境整備を図るとともに、新

規事業者等の受け入れ支援等のしくみづくりを強化します。

基幹産業である農業、とりわけ、すでに一定のブランドを確立しているびらとりトマトやびらとり和牛のさらなる安定生産に向け支援体制等の強化を図ります。

トマトは、先人が苦勞して築き上げた全国屈指の産地として毎年12,000トンを生産できる体制が確立されています。そこにびらとりトマトのブランドの強さがあり、これをどう維持していくかが大きな課題となっています。今までの後継者、新たな担い手の確保に関する制度的な支援を継続するとともに、新規就農者や後継者がさらに就農しやすい環境や制度の整備などを検討します。

びらとり和牛についても、畜産公社の供給体制の強化と経営の健全化を両立させる取り組みを進めるとともに、今後の消費者の食の志向や国外などへの供給についても情報収集しそれに対応する取り組みを進めてまいります。

平取町の一次産品の「びらとりトマト」「びらとり和牛」の二大ブランドを活用し、食を通じて、観光や商業の活性化にもつながる、町に人が訪れる仕掛けづくりも検討して

まいります。

林業については、町有林の循環経営、林道整備等により地域林業の経営基盤の安定と民有林の森林整備の推進、合わせてバイオマス資源としての活用も視野に、地材地消による循環型の地域内経済システムの構築を目指します。

観光振興については、産業、生業として成り立ち、アイヌ文化の振興にもつながる、コミュニティベースでの平取型ツーリズムを提供できるDMOの構築など、平取町ならではの観光の在り方を探ってまいります。また、観光協会の法人化についても早急に方向性を示します。

商工業の振興について、小売店をはじめ後継者がいないなどの理由で閉店する商店が相つき、街なかのかつての活気が失われております。人口減少、社会や時代の変化や消費者の価値観の変化などから、以前のような商店経営が難しい環境にあります。平取町でも生業として成り立つ、消費者のニーズに呼応できる職種や商法なども検証し、外部からの人材の確保なども検討し起業環境の整備拡充を進めてまいります。

また、各会計予算における一定規模の投資的公共事業予算の確保は、地域GDPへの寄与といった視点

でも重要なことから、一般のインフラ整備事業は無論のこと、国土強靱化や環境保全分野での公共事業の創出も視野におき、規模の確保に努めてまいります。そのために必要な財源の確保は国や道などの関係機関等の支援制度を最大限活用できるように東奔西走し、情報収集や獲得に努力します。

あわせて人口減少の抑制や雇用の確保という見地から、当町が提供できる、地理的条件や自然的条件にマッチした企業誘致を図るべく、支援制度の整備を進めます。



トマト選果場

②健康で楽しく暮らせる まちを目指します

町民が健康で元気で楽しく暮らせるよう、医療・介護サービスなど

が最適に提供されるしくみの充実と健診体制の強化や介護予防の取り組みを進めます。

人生を生き抜き、自己を実現するための基本は健康であるということです。豊かに暮らす第一の条件として、町民一人一人が健康で元気でいられるよう、各分野での支援体制の充実を図ってまいります。

町民の健康づくりを進めるためには、医療・福祉・介護・保健のそれぞれの分野、病院、地域包括支援センター、社会福祉協議会や平取福祉会、企業や事業所などが相互に連携し、健康づくりや介護予防にしっかりと取り組んでいける体制のさらなる強化充実が求められております。

各事業者での役割を認識、共有し、中長期的視点での高齢者福祉に対応した介護サービス事業などのあるべき形を確立してまいります。

国保病院の体制等については、地域の医療機関としての役割の明確化、経営の効率化などについて、令和3年度からスタートする病院改革プランの中で十分に検討し、地域医療を担う病院として再構築を図ってまいります。

健康の源は食にあります。子どもから高齢者までしっかりバランスの良い食事をとって心身共に健

康であるための食育事業の強化を図ってまいります。



夏休み子どもクッキング

③ 住みやすく安心して暮らせるまちを目指します

住環境、道路、交通、水道や生活排水などのインフラ施設の機能を向上させ、災害に強い公共施設等の強化と防災体制の充実を目指します。また、少子化対策につながる子育て支援を進めます。

町内での暮らしや雇用の確保には、住環境の整備が必須の条件ともなりますので、老朽化した公営住宅の建て替えを積極的に進め、民間の賃貸住宅の増設を進めるための支援制度の強化を図るとともに、空き家活用によるリノベーション住宅の整備なども検討し、住宅数の確保

を図ります。合わせて、町内の良好な景観の形成や倒壊による事故防止という観点からも廃屋の撤去を促進する制度の強化を検討します。

また、このコロナ禍を経験したことによる価値観の変化は、多くの人や企業が小規模自治体への移住を検討する機会をもたらしました。平取町もオンライン、テレワークなどを活用した新たなライフスタイルやワークスタイルを実践できる町として、ハードソフトの両面で移住、定住を促す環境の整備を進めてまいります。

平取町の出生率の向上を図るため、子育て世代への医療費、保育料、祝い金などの支援等についての現行制度の検証を図り、少子化対策としてより有効な支援制度の拡充などを検討してまいります。

また、高齢者や障がい者のための住民の移動手段の確保についても、現在の路線バス、デマンドバス、福祉バスなどの体系の検証を進め、さらに効率的で経済的な使い勝手のいい域内交通システムの構築を目指します。

町内には老朽化や耐震化などが不十分で改築をしなければならない公共施設が多くあることから、役場庁舎や消防庁舎、その他改築を迫

られている施設等について、利便性や経済性なども考慮し、様々な方の意見も聞きながら改築の整備方針とスケジュールを明らかにします。



デマンドバス

④ 域内にあるエネルギーの活用を目指します

木質バイオマスや生ごみなど地域にあるエネルギー資源を活用し、地域内で資源と経済が循環する仕組みづくりを目指します。

平成27年に平取町は国から、主に地域内に多く賦存する木質バイオマスの利活用を主とした、バイオマス産業都市構想の認定を受けており、国等の補助制度支援も厚く受けられる状況があります。これらの支援制度を活用し、本構想の内容に沿って、木質のみならず、生ごみな

のための、人材育成と素材の確保を柱とした平取町が以前から取り組んできた施策を、国の制度なども活用しながら、関係自治体とも連携し、さらに事業内容等を拡充強化し進めてまいります。

⑥ 教育環境の向上を目指します



ICT活用検討委員会

児童生徒が健やかに成長できるための支援と教育環境の整備を目指します。あわせて平取高校の存続のため、高校の魅力化への支援も行います。

子どもたちが健やかに成長できるための支援と、学校教育に必要なICT化などの教育環境の整備を目指します。また、少子化に伴う小規模学校のあり方などについて、地

域との協議の場を設け、教育環境の適正な規模等についての議論を深めます。

平取高校の存続について、町としても無料塾の開設をはじめ、様々な支援策を講じてきてはおりますが、生徒数の確保は厳しい現状があります。さらに町外からも生徒を誘致できるように高校の魅力化について検討してまいります。

⑦ 将来にむけて安定した財政運営を目指します

町の将来を見据えた安定的な財政運営は、町政を運営する基本となるものです。事業のありかたなどをさらに議論し、健全な財政運営を目指します。また、地域医療を担う国保病院のさらなる経営の健全化に取り組みます。

平取町の財政の状況は、地方交付税等に依存する一般財源の割合が大きいため、人件費、公債費等の義務的経費の増加により投資的経費への充当一般財源が不足するため、基金からの繰り入れが恒常化しています。特別会計を含む令和2年度末の起債残高は100億円を超えており、中期的見地からもしばらくは、厳しい財政運営を余儀なくされる状況にあります。今後、経常経費

のさらなる節減と投資的経費等の適切なスクラップアンドビルドによる事業等の慎重な選択などにより、財政の健全化と持続可能な財政構造の構築を目指してまいります。

また、国保病院のより健全な経営環境の構築のための取り組みを強化してまいります。

町政運営に関する十分な情報共有と住民参加を基本に、住民ニーズを反映した政策決定のしくみをさらに強化します。

⑧ 情報共有と住民参加のまちづくりを目指します

平取町自治基本条例の主旨にのっとり、町民への十分な情報共有と積極的な住民参加により町政を運営してまいります。情報共有や住民参加の手法もインターネットやSNSなどを活用した新たな手法も検討してまいります。また、中高生や若い世代の方々がより、まちづくりに参画できる機会を増やす仕組みなども検討してまいります。

合わせて、多様化、変化する住民ニーズに対応できる役場機能の構築と職員の育成に努めてまいります。

ど可能性のあるバイオマスの活用に向けさらに検討を進め、域内経済の循環とエネルギー自給率の向上を図ってまいります。

⑤ アイヌ文化の振興と継承を進めます

平取町が取り組んできたアイヌ施策を、国や他の自治体、関係機関などとの連携によりさらに総合的な拡充を図ります。

昨年5月にアイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための、アイヌ施策推進法が施行され、さらに本年、白老町に民族共生象徴空間ウポポイが開業し、国立のアイヌ民族博物館も開館しました。こうした国レベルでの一連の動きはアイヌ文化への理解と振興継承にとって大きな一歩となりました。

私たちは今回のコロナ禍を経験し、自然の前の人間の非力さを痛感し、自然との共生や自然への謙虚な姿勢が欠如していたことを学びました。そういった視点で、アイヌ文化の根幹となる、自然への畏敬、アニミズムといった精神的な指向は、これからの時代に求められる価値観に合致するものであり、振興継承の意義はより深まったと考えます。

平取町としては、文化継承、発信

以上、これからの町政運営についての重点施策等の考え方について、大変難解ではありますが、私の考え方を述べさせていただきます。

人口減少や高齢化は、町の将来を悲観的に捉えがちですが、一人一人の顔が見え、その思いを的確に、着実に実現することができると。小さな町であるからこそ、大きな可能性を平取町は持っていると感じております。

これから進めなければならない平取町としての政策、施策については、その効果や有効性のピークをどの時点とするのか、その評価は誰が判断すべきかなどの課題があり、政策等の選択、施行は極めて難しいものがありますが、議会、町民の皆様と思いを共有し、様々な課題に向き合いながら、その解決手法を見出し、胸を張ってこの平取町を次の世代に引き継ぐため、今すべき努力を惜しまない所存です。

町民のまちづくりへの思いを覚醒させ、行動を触発するようなりーダーとなれるよう、もてる力を傾注し全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、さらなる支援とお力添えを心よりお願い申し上げます。所信表明とさせていただきます。

9/29

平取高等学校弁当給食

「弁当給食」の取り組みが、平取高等学校で行われました。

この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により消費が縮小している地元食材を使用した特製弁当を、平高生に提供すること、「地産地消」による地域活性化を図る事業です。

「平取産なつぼし」をはじめ、「びらとり和牛のローストビーフ」、「びらとりトマ



トのサラダ」、「びらとり黒豚ロースの野菜巻」など、地元食材がふんだんに使用された特製弁当に、生徒の皆さんは箸が止まらない様子でした。

今回のお弁当は「びらとり温泉ゆから」が調理を担当しました。この事業は、来年の1月まで4回実施される予定です。今後のお弁当は「じゃんけんぼん」味処いこい「くるべこ」から提供されます。

9/30

ふるさと給食「びらとりDAY」

町内の各小中学校において、地元食材を使用した『ふるさと給食「びらとりDAY」』が実施されました。

今回は、「びらとり和牛のハンバーグカレー」がメインの献立で、町から和牛ハンバーグ、びらとり農協からはじゃがいもをはじめとする平取産の野菜を提供していただき、お米も含めて地元の食材がふんだんに使われました。

また、平取町と友好提携を結んでいる兵庫県南あわじ市の名産の玉ねぎも使用し、おいしいハンバーグカレーが給食に出されました。

児童・生徒は野菜を作った農家の方や食材の提供者に感謝しながら、余すことなくスペシャルメニューを堪能していました。



10/2

平取高等学校 創立70周年記念花火

平取高等学校創立70周年を記念し、平取高等学校のグラウンドから花火が打ち上げられました。

「北海道平取高等学校70周年記念事業協賛会」、「北海道平取高等学校生徒会」の共催による記念事業として行われました。

同日に開催された「第33回平高祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より規模を縮小し、

生徒、家族および関係者のみでの学校祭となりました。

秋の夜空を彩る花火は、多くの住民への感謝の思いを込めて打ち上げられ、地域全体で創立70周年を祝う記念となりました。



10/3

アシリチエプノミ

二風谷地区のおサツ沢で、「アシリチエプノミ」(新しいサケを迎える儀式)体験が開催されました。

69名が参加し、伝統的な漁法の再現をはじめ、儀礼・儀式・アイヌ伝統料理の調理実習・試食が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サケの捕獲漁具を消毒しながら使う等、対策をとりながらの取り組みとなり

ました。

あいにく、時おり強い風が吹き、雨が降る中での開催となりましたが、サケの採捕をはじめ、野外での体験は無事に終了しました。

その後、二風谷生活館でアイヌ伝統料理の調理・試食が行われ、参加者はチェブオハウ(鮭汁)や、サケの酢漬けを堪能しました。



10/3

TVアニメゴールデンカムイ 謎解き宝探し2

平取町観光協会主催による「TVアニメゴールデンカムイ 謎解き宝探し2」が、11月1日(日)まで開催されています。

前回、予想を上回る参加があった好評のイベントの第二弾で、「ゴールデンカムイ」謎解き、そして「アイヌ文化」が一体となった、いずれのファンも満足できるイベントとなっています。

今回の謎解きは、アイヌ

文化情報センター、アイヌ工芸伝承館ウレシバ、萱野茂二風谷アイヌ資料館、アリキキ(カフエ)、びらとり温泉ゆから、二風谷コタン内の一部のチセを巡ります。

参加者には、「特製記念缶バッジ」が参加賞として全員に贈られるほか、全問正解者には更に記念品が贈呈されるとあって、皆、全問正解を目指して謎解きを楽しんでいました。



10/1

こだまみわこ 永野曜一2人展

沙流川アート館で児玉美和子氏と永野曜一氏による展示会が10月1日(木)から4日(日)まで開催されました。

この展示会は永野氏から提案があり、アート館での2人展が実現しました。

児玉氏は、風景の他、その時に気になったことをテーマにして描かれた木版画作品、永野氏は、ダイナミズム、躍動感を表現した空間構成の油彩作品を出展し

ました。両者のコラボレーションは、今回初めてですが、大変好評で次回を期待する声が多く聞かれました。



キッズチャレンジT H E あぐり 体験を通じて農業を楽しく学ぶ

今年も町内の小学生を対象として『キッズチャレンジT H E あぐり』(全2回)が開催されました。

本事業は、子どもたちに昔ながらの農作業を体験してもらい、食物が生産されてから食卓に上がるまでの過程と、そのために必要な作業や努力を実感してもらい、食べることを、食べ物を大事にすることを学ぶことを目的としています。

例年は5月の田植えからスタートしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、1回目の開催が9月5日(土)となりました。長知内の橋内貴裕氏の畑を借用して19名の参加により、J A びらとり青年部の皆さんの指導のもと、野菜の収穫を体験しました。

当日の天候はあいにくの雨でしたが、子どもたちはビニールハウス内で、じゃがいも、とうもろこし、えだまめを楽しそうに収穫し、持ち帰りました。

終了後のアンケートでは、「初めてとうもろこしを収穫し、採り方を学んだ」、「普段食べている野菜がこんなふうになっていることがわ

かった」、「暑くて大変な仕事をしている人はすごい」などの感想が寄せられました。



キッズチャレンジ1回目
とうもろこし収穫

2回目は9月26日(土)に紫雲古津の平目久人氏の水田を借用して、稲刈り・はさかけを参加者17名が体験しました。

前日からの雨は体験中に快晴に変わり、稲刈り日和となりました。前日に引き続きJ A びらとり青年部の皆さんの指導のもと、保護者にもお手伝いをしてもらい、児童たちは汗をかきながら一生懸命に稲刈りをしていました。

終了後のアンケートでは、「稲の刈り方や大変さがわかった」、「足をケガして鎌が危ないことを学んだ」などの感想が寄せられました。



キッズチャレンジ稲刈り



はさかけ終了後の記念写真

小学生陸上競技大会を終了します

今年7月に開催を予定しておりましたが、「第20回小学生陸上競技大会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりました。

児童数の減少により、学校単位でのリレーチーム編成が困難となったこと、少年団等の大会日程が重複すること等により、来年度から小学生陸上競技大会を実施しないこととなりましたので、ご理解をお願いします。

これまで大会運営を支えていただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。



平成30年度
小学生陸上競技大会

日高町・平取町キッズ交流事業 「カムイの宝を探せウォークラリー」

9月12日(土)に日高町と平取町の小学生が交流する「カムイの宝を探せウォークラリー」が二風谷コタ周辺で開催され、両町あわせて18名が参加しました。

前日からの雨も上がり、暖かい日差しの中、3人毎のグループに分かれ、アイヌ文化を題材にした課題解決型のウォークラリーが行われました。

また、昼からの「オリジナルコースターづくり」は、アイヌ文様について学んだ後、子どもたちが用紙にオリジナルの模様をサインペンで描きました。描かれた模様は、後日、「アイヌ工芸伝承館ウレシバ」のレーザー加工機でオリジナルコースターに仕上げられました。

アンケートで「アイヌ文化について知らなかったことを学べた」、「初めてあった人と協力して楽しく交流することができた」などの声が寄せられ、参加者満足度100%の事業となりました。

最後にアットウシのプレスレックのプレゼントもあり、コロナ禍でキャンプなどの社会教育事業が縮

小するなか、学びが深まった良い体験の日となりました。



ウォークラリー



コースターづくり

平取中学校祭、振内中文化祭が開催されました！

9月12日(土)に平取中学校で学校祭、18日(金)に振内中学校で文化祭が開催されました。

平取中では「TRUECOLORS(トゥルーカラーズ)〜くみんなでつくる1つのキャンパス〜をテーマに、振内中では『人権』、スローガン「光く未来を照らす」が掲げられ、それぞれ学校全体が一つになって、若いエネルギーがいかになく発揮されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、期間と練習時間を短縮するなかでの取り組みでしたが、活動の成果が十分にあらわれていました。

また、参観人数を制限しての開催でしたが、保護者、地域の皆様のご理解・ご協力のもと、生徒たちは、また一つ成長した姿を見せてくれました。



平取中学校吹奏楽部
「夜に駆ける 紅蓮華 他」



振内中学校3年生劇
「グッドバイ・マイ」

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



新着図書

【小説・エッセイ】

『半沢直樹 アルルカンと道化師』
／池井戸潤
『海神の島』／池上永一
『推し、燃ゆ』／宇佐見りん
『バケモンの涙』／歌川たいじ
『鏡影劇場』／逢坂剛
『猿神』／太田忠司
『私は女になりたい』／窪美澄
『震雷の人』／千葉ともこ
『真夜中のたずねびと』
／恒川光太郎
『生まれつきの花』／似鳥鶏
『やがて訪れる春のために』
／はらだみずき
『ちよぼ 加賀百万石を照らす月』
／諸田玲子

【絵本】

『ますくちゃんではんどす』
／よこみちけいこ
『ねこはるすばん』／町田尚子
『ねこのニャンルー』／どいかや
『だれかなあ?』／みやにしたつや

【医学・社会・家庭】

『逆流性食道炎』／文響社
『放っておくとこわい症状大全』
／秋津壽男
『「閉経」のホントがわかる本』
／対馬ルリ子
『「普通」の人のためのSNSの
教科書』／徳力基彦
『不思議なお菓子レシピ サイエ
ンススイーツ』／太田さちか
『発掘! 歴史に埋もれたテレビ
CM』／高野光平
『90歳セツの新聞ちぎり絵』
／木村セツ
『鳥獣戯画の国』／金子信久
『つなぎ続ける心と力』
／宮西尚生

【児童書】

『宇宙の神秘 時を超える宇宙船』
／ルーシー・ホーキング
『めいたんていサムくん』
／那須正幹
『ココロ屋 つむぎのなやみ』
／梨屋アリエ
『おじいちゃんとの最後の旅』
／ウルフ・スタルク

※ 図書ワゴン運行予定 ※

11月5日(木)

【振内地区】10:00～12:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】14:00～16:00 貫気別生活館

■ 貸出期間は次回の巡回日までになります。

■ 毎月第一木曜日に運行します。



図書館カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ は休館日です

図書用UV除菌ボックス 設置しました!

紫外線で図書の除菌ができるUV除菌ボックスを設置しました。図書の貸出処理後や返却の前などに感染症の防止対策としてご活用ください。
※インフルエンザ・ノロウイルスなどの除菌効果が実証されています。

おすすめ紹介



『君は月夜に光り輝く』／佐野徹夜
(メディアワークス文庫)

第23回電撃小説大賞受賞作。月の光を浴びると体が光輝くという「発光病」。その病で余命わずかの少女が思う「死ぬまでにしたいこと」を、少年が代わりに叶えていく物語。主人公と同年代の方にもオススメです。雑誌「ダ・ヴィンチ」に漫画も掲載中ですので、そちらもぜひ、ご覧ください。

【問合先】平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

すこやかだより

保健福祉課からの
お知らせ

認知症について

厚生労働省の「都市部の高齢化対策の現状(平成25年)」によると2025年には、認知症高齢者は400万人で、その内37.2%(約150万人)がひとり暮らしの高齢者になると予測されています。

ひとり暮らしの高齢者が認知症を発症すると、次のような地域との問題が心配されます。

- ①地域のルール(地域住民との連携、ゴミ出しのルールなど)を守れない
- ②大声で騒ぎ、苦情が発生する
- ③夜間に徘徊などをしている

ひとり暮らしの高齢者が増加する理由

- ①高齢化
 - ②核家族化
 - ③その他
- ・何らかの理由で家族を頼れない
・すでに家族が他界している
・生活環境に満足している
・経済的に一人暮らしが可能

慣れ親しんだ場所から離れたくない

最近では地域のつながりや、家族関係が希薄なケースが増え、そのような環境が孤独死の原因となるケースも少なくありません。

ひとり暮らしの高齢者を 取り巻く環境

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、身近な地域の人々との交流や声掛けなど、日常の支え合いや見守りがとても重要です。早い段階で気づくことができ、早期にサービスにつなげることが大切です。



認知症の方の気持ち

認知症の方は周りの状況を理解する能力が衰えています。何もわからない場所にひとり放り出されているのと同じで、普通の人よりも不安や孤独を強く感じます。

認知症の方の暴言・暴力は不安や恐怖を感じることが原因であり、安心感を与えられないよう、相手の目線に合わせて腰を低くし、手など身体に触れながら落ち着いて、優しく声を掛けてあげましょう。

認知症予防

認知症の予防には日頃から脳の健康状態を保ち、認知症で低下しやすい機能を鍛えておくことが重要とされ、適度な運動、家事や趣味、社会活動などの知的活動、十分な食事と睡眠が予防につながります。

入れ歯と認知症の関係

入れ歯を外しがちな高齢者の方で、入れ歯をつけずに歯のない生活をしていると思われ、問題を引きおこします。噛むという動作は脳への

刺激となり、噛む動作がなければ脳の動きも低下しがちになります。



20本以上歯が残っている人よりも、歯がなく入れ歯を使っている人としては認知症になるリスクが約2倍になると言われています。

歯のかみ合わせが悪く、入れ歯のない状態でいると認知症だけではなくあごの関節症、肩こり、頭痛などの症状が発生する場合があります。

平取町地域包括支援センターには高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、支援を行う総合相談窓口です。
☎ 2・3700

今月のワンショット



平取高等学校第33回平高祭(10/2)

役場関係 電話番号

- 平取町役場 ☎ 2-2221
- 総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- 産業課 ☎ 2-2223
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 観光商工課 ☎ 3-7703

まちの人口と世帯数

(前月比)

人口	4,826 人	(- 19 人)
男	2,356 人	(- 9 人)
女	2,470 人	(- 10 人)
世帯数	2,493 世帯	(- 10 世帯)

※9月末現在の住民基本台帳による

すずらん短歌会詠草

「すずらん短歌会」入会者募集!
希望者は、中央公民館生涯学習課社会教育係へ

風呂上りおぼろ月に窓あけて
身にひんやりと冷気をおぼゆ 中沢 三二子

何事も心次第で進む道
残る人生迷わず行こう 相田 のぶ子

盆過ぎて秋の気配が足早に
トンボの舞があちこちに見ゆ 中原 千鶴子

水面見る稲穂の列に啞然とす
実りの秋はいかになりしか 石川原 多満代

群青の空にきりりと風が来て
直に冬だと告げ吹き回る 熊谷 厚子

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111

- 保健福祉課
- 保健推進係・福祉係 ☎ 4-6112
- 介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
- 町民課 ☎ 4-6113
- 児童館 ☎ 2-3026
- 子ども発達支援センター ☎ 2-3400
- 地域包括支援センター
- 「ほほえみ」 ☎ 2-3700
- 図書館 ☎ 4-6666

- 平取町教育委員会
- 中央公民館 ☎ 2-2619
- 町民体育館 ☎ 2-2749
- 二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
- 沙流川歴史館 ☎ 2-4085

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場真別支所 ☎ 5-5204

- 平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
- 平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361



陸上 海上 航空 自衛官募集中

自衛官募集ホームページ
<https://www.mod.go.jp/gd/j/zei/anboisyj/>



札幌地本イメージキャラクター モコちゃん
お問い合わせは...
自衛隊札幌地方協力本部
静内分駐所

電話(0146)44-2855



ホームページ QR コード